

# 調 査 票 様 式



## 調 査 票 様 式 目 次

1. 調査依頼文	
産業廃棄物に関する調査について（依頼） .....	206
2. 産業廃棄物実態調査票	
形式C（運輸業、郵便業、自動車整備業） .....	207
形式E（建設業） .....	212
形式F（鉱業、製造業、電気・水道業、情報通信業、教育・学習支援業、サービス業等） .....	217
形式H（医療、福祉） .....	223
形式L（卸・小売業、金融・保険業、不動産業、物品賃貸業、サービス業等） .....	228
3. 産業廃棄物に関する意識調査票	
産業廃棄物に関する排出事業者意識調査票 .....	234



調査対象事業者（排出事業者） 殿

沖縄県環境部長  
（公印省略）

産業廃棄物に関する調査について（依頼）

事業者の皆様には、廃棄物行政の推進に格別の御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。  
さて、沖縄県では、廃棄物の減量化目標等について定めた沖縄県廃棄物処理計画を更新するに当たり、産業廃棄物実態調査を実施することとしました。

つきましては、貴事業所を調査対象とさせていただきましたので、御多忙のところ誠に恐縮ですが、調査に御回答くださいますようお願い申し上げます。

御回答は、可能な限り、電子ファイル（ワード、エクセル）の調査様式を下記の電子メールアドレス宛てに御送信くださいますようお願いいたします（電子ファイルのダウンロード先は下記のとおりです）。電子ファイルの提出が困難な場合は、同封の返信用封筒で郵送ください。

ご多忙のところ恐れ入りますが、**令和6年10月31日**までにご回答をお願いいたします。

なお、御回答いただいた内容については、秘密を厳守し、会社名等を公表することはありません。  
調査票の記入方法等に関するお問い合わせは、下記の調査機関までお願いいたします。

記

- 1 委託調査機関（お問い合わせ先）  
株式会社沖縄環境地域コンサルタント（電話番号：098-878-1501）
- 2 調査主体  
沖縄県 環境部 環境整備課（電話番号：098-866-2231）
- 3 調査票の提出先
  - (1) 電子ファイル（ワード、エクセル）を送信する場合  
sanpai@erc-okl.co.jp
  - (2) 紙を郵送する場合  
同封の返信用封筒で郵送ください。  
※可能な限り、(1)電子ファイル（ワード、エクセル）を送信する方法で御提出ください。
- 4 調査票（電子ファイル）のダウンロード先（以下のいずれかからダウンロード下さい。）
  - (1) 株式会社沖縄環境地域コンサルタントのホームページ  
<http://www.erc-okl.co.jp/>
  - (2) 沖縄県環境整備課のホームページ  
<https://www.pref.okinawa.jp/kurashikankyo/gomirecycle/1004144/1021806.html>

沖縄県



形式 C (運輸業、郵便業、自動車整備業)

産業廃棄物実態調査票  
(令和5年度実績)【その1】

1. 本調査の対象期間は令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）の1年です。  
なお、期間によっては、別の調査を希望する場合があります。
2. 本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所に關して以下の質問にお答えください。
3. 産業廃棄物（有償で取引はされた副産物を含む）が調査の対象期間中に何も発生しなかった場合は、本調査票【その1】の「事業所の概要」1.「事業の概要」欄をご記入いただき、「1. 産業廃棄物の発生」の欄の2.「発生しなかった」に○を付けてください。
4. 本調査における汚泥の発生量は、排水機投入前の濃縮汚泥の量を記入してください。
5. 別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考にしてください。

事業所の概要		事業所の概要	
事業所名	〒	事業所の概要	
所在地		事業所の概要	
業種	主	事業所の概要	
ふりがな	業	事業所の概要	
記入者	氏名	事業所の概要	
課名		事業所の概要	
電話番号	FAX番号	事業所の概要	
		事業所の概要	
従業員数（全事業所記入）		事業所の概要	
事業所内での年間従業員数（タイや交換・オ		事業所の概要	
作の従業員数（派遣社員、役員等		事業所の概要	
を含む。パート・アルバイトを所		事業所の概要	
有する人数を記入してください。		事業所の概要	
1. 事業の要領を事業所で行っている。		事業所の概要	
2. 行っていない。		事業所の概要	
令和5年度の1年間に産業廃棄物（有償で取引された副産物を含む）は発生しましたか。該当する番号に○をつけてください。		事業所の概要	
1. 発生した		事業所の概要	
2. 発生しなかった		事業所の概要	

産業廃棄物（有償で取引された副産物を含む）が発生していない事業所に対するアンケートはここまでです。

- 別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考に、本調査票の「調査票【その2】」に事業所から発生した産業廃棄物の状況について記入してください。
- なお、調査票【その2】では、廃棄物の発生から中間処理、さらに最終処分（焼却処分あるいは再生利用）されるまでの一連の流れを確認するため、以下の項目についてお答えをお願いします。
- ◆ 事業所で不要となったものを「売却」している場合（廃棄物に該当しない場合もありますが、調査の対象としています。）
  - ◆ 事業所内もしくは処理業者・物品回収業者などで再生利用（リサイクル）している場合
  - ◆ 処理業者に依頼や依頼などの中間処理委託している場合
  - ◆ 事業所内で何らかの処理を行い、自己処分している場合
  - ◆ 事業所内で何らかの処理を行い、処理業者に処分を委託している場合



〈調査票の記入要領・記入例〉

※ この資料には、調査票の具体的な記入例が記載してあります。

※ お手数ですが、この「記入例」を参考にして調査票をご記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）にて、ご返送くださいますようお願いいたします。

※ 本調査に関するお問い合わせは、（株）沖縄環境地域コンサルタント（電話098-878-1501）へお願いいたします。

※ ご提出いただいた調査票の記入内容について、電話等により確認させていただく場合もありますので、必ず調査票の控えを取っておいていただきますようお願いいたします。

調査票【その1】の記入要領・記入例

部分の記入例を参考にして、調査票【その1】を記入してください。

事業所の概要	事業所名	(株)△△△運輸										
	所在地	〒×××-×××× 那覇市△-□□										
	業種	運輸業		主 業 内 容		△△の輸送						
	ふりがな	おきなわ たらう										
	記入者	部・課名： 〇〇部 〇〇課		氏 名：		沖縄 太郎						
事業の概要	電話番号	□□□□	-	□□	-	□□□□	FAX番号	□□□□	-	□□	-	□□□□
	従業員数（全事業所記入）	車両の整備等				資本金（全事業所記入）						
	貴事業所の令和6年3月31日現在の従業員数（派遣社員、役員等を含む。パート・アルバイトを除く。）を記入してください。	貴事業所内で車両の整備等（タイヤ交換・オイル交換を含む）を行っていただけますか。該当する番号に○をつけてください。				本社を含む全体（令和6年3月31日現在）						
	80人	1. 車の整備を事業所内で行っている。 2. 行っていない。				千 百 十 千 百 十 億 億 億 万 万 万 万 5 0 0						
	令和5年度の1年間に産業廃棄物（有償で取引された副産物を含む）は発生しましたか。該当する番号に○をつけてください。											
廃棄物の発生有無	1. 発生した					2. 発生しなかった						





## 廃棄物分類表(その1)

※爆發性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は、裏面の2. 特別管理産業廃棄物の分類表をご参照ください。

1. 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を除く)

[illegible]

## 廃棄物分類表(その2)

[illegible]

「次の座薬物は上記具体例での分類をせず、以下の分類としてください」

## 2. 特別管理産業廃棄物

※爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は特別管理産業廃棄物として分類されます。

可燃性廃油	3013	排灰出銀、灯出銀、軽油出銀の燃えやすい廃油
腐食性廃酸	0403	水素イオン濃度超過 (pH 2.0以下) の廃酸
腐食性廃アルカリ	0603	水素イオン濃度超過 (pH 12.5以上) の廃アルカリ
感染性産業廃棄物	2014	血液、血清、体液、血清製剤、血液等が汚染した器具類 (注射針、メス、試料瓶、シヤワー、カラスチック等)、汚染等が確認した薬品、手術用生体等、医療廃棄物に感染した試料・検体等に用いたもの、汚染物が付着したカラスチック類等
特定有害無機酸	0109	特定有害物質を含む硫酸塩
特定有害有機酸	0309	特定有害物質を含む酢酸塩、トリクロロエチレン・テトラクロロエチレンを含む酢酸塩等
特定有害有機性汚泥	0219	特定有害物質を含む汚泥
特定有害無機性汚泥	0229	特定有害物質を含む汚泥
特定有害有機酸	0403	特定有害物質を含む酸性廃液
特定有害有機アルカリ	0509	特定有害物質を含むアルカリ性廃液
特定有害重金属	1409	特定有害物質を含む重金属
特定有害石灰石等	1538	灰汁付石灰石 (ワカサガイ)、石灰質含有母材、水垢含有物 (石灰物) じん発生源とみなす事業場の臭い処理で発生した腐蝕性の石灰石など
特定有害ばいじん	1809	特定有害物質を含むばいじん
廃PCB	7414	廃PCB等、PCB汚染物、PCB処理物



形式E（建設業）

産業廃棄物実態調査票  
(令和5年度実績)【その1】

事業所の概要

元請工事有  
解体工事有  
元請工事無  
解体工事無

工事費額  
解体工事有  
元請工事有  
元請工事無  
解体工事無

産業物が発生した  
産業物が発生しなかった  
産業物が発生しなかった  
産業物が発生しなかった

調査票【その2】に記入  
調査票【その2】に記入  
調査票【その2】に記入  
調査票【その2】に記入

返送  
返送  
返送  
返送

1. 本調査の調査期間は令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）の1年間に沖縄県まで施工した全ての元請工事（出来高工事含む）を対象とします。

2. 共同企業体（JV）による工事については、分担施工方式では各分担者の元請工事高と発生廃棄物を記入し、共同施工方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物を一括記入してください。

3. 下記のフローに記入し、返送してください。

4. 産業廃棄物（有償で取りきれず副産物を含む）が調査の対象期間中に発生しなかった場合は、本調査票【その1】の「事業所の概要」の「令和5年度元請工事費額」欄を「発生しなかった」と記入してください。

5. 4調査期間における発生量は、概算値記入前の最終計算の量を記入してください。

6. 別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考にしてください。

事業所名	〒									
所在地										
代表者氏名	（代表者氏名）									
電話番号	FAX番号									
資本金	（令和6年3月31日現在） 千 百 十 千 百 十 千 百 十 億 億 億 億 億 億 億 億 億 億 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円									
従業員数	（令和6年3月31日現在） 千 百 十 千 百 十 千 百 十 億 億 億 億 億 億 億 億 億 億 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円									
令和5年度実績	元請完成工事高（消費税込） 同内工事の年度の元請完成工事高 （出来高工事含む）を記入してください。 1. あり 2. なし 千 百 十 千 百 十 千 百 十 億 億 億 億 億 億 億 億 億 億 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円									
産業物の発生	解体工事請負金額（消費税込） 同内工事の年度の解体工事の請負金額を 記入してください。 1. あり 2. なし 千 百 十 千 百 十 千 百 十 億 億 億 億 億 億 億 億 億 億 万 万 万 万 万 万 万 万 万 万 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円									
令和5年度の1年間に産業廃棄物（有償で取りきれず副産物を含む）は発生しましたか。該当する番号に○をつけてください。	1. 発生した 2. 発生しなかった									
産業廃棄物（有償で取りきれず副産物を含む）が発生していない事業所に對するアンケートはここまでです。										
調査票【その2】に各工事現場から発生した廃棄物等の状況について、記入してください。										



**調査票【その1】の記入要領・記入例**

- 214 -







形式 F（鉱業、製造業、電気・外道業、情報通信業、  
教育・学習支援業、サービス業等）

産業廃棄物実態調査票  
(令和5年度実績)【その1】

1. 本調査の対象期間は令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）の1年間です。  
なお、時間によっては、別の指定を指定する場合があります。
2. 本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所に脱して以下の質問にお答えください。
3. 産業廃棄物（特選で取引された副産物を含む）が調査の対象範囲中に何も発生しなかった場合は、  
本調査票【その1】の「事業所の概要」に「事業の概要」欄をご記入いただき、「廃棄物発生の有無」  
の欄の「2. 発生しなかった」に○を付けてご返送ください。
4. 本調査における所定の発生量は、脱水機投入前の湿物重量を記入してください。
5. 別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考にしてください。

事業所の概要	
事業所名	〒 -
所在地	
業 種	主 業 内 容
記 入 者 部 課 名	氏 名
電 話 番 号	F A X 番 号

従業員数（全事業所記入）	製造品出荷額等（製造業のみ記入）	資本金（全事業所記入）
令和5年度の1年間の平均従業員数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）	令和5年度4月1日から令和6年3月31日まで の1年間の製造品出荷額等を記入してください。 （単位：千円）	令和5年度末 （令和6年3月31日現在）
千 百 十 万 円	千 百 十 万 円	千 百 十 万 円
1 2 3 4 5 6 7 8 9	1 2 3 4 5 6 7 8 9	1 2 3 4 5 6 7 8 9

令和5年度の1年間に産業廃棄物（特選で取引された副産物を含む）は発生しましたか。該当する番号に○を付けてください。

1. 発生した	2. 発生しなかった
---------	------------

産業廃棄物（特選で取引された副産物を含む）が発生していない事業所に対するアンケートはこまでです。

別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考に、本調査票の「調査票【その2】」に貴事業所から発生した廃棄物の状況について記入してください。  
なお、調査票【その2】では、廃棄物の発生から中間処理、さらに最終処分（埋立処分あるいは再生利用）されるまでの一連の流れを把握するため、以下の項目についてお聞きしています。  
◆事業所で不要となったものを売却している場合（廃棄物に該当しない場合もありますが、調査の対象としています。）  
◆事業所内もしくは処理業者・商品回収業者などで再生利用（リサイクル）している場合  
◆処理業者に売却や処分などの中間処理を委託している場合  
◆事業所内で何らかの処理を行い、自己処分している場合  
◆事業所内で何らかの処理を行い、処理業者に処分を委託している場合



★この調査票の有効期限は令和5年4月1日～令和5年3月31日の1年間です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分状況を確認し、記入してください。

## 産業廃棄物実態調査票(令和5年度実績)【その2】

- ①事業所で発生した廃棄物の名称  
事業所単位で目録目録しているものを記入してください。  
(別紙「廃棄物分類表」に示した品名を参照)
- ②廃棄物の分類番号  
別紙「廃棄物分類表」から、該当する4ケタの番号を記入してください。
- ③年間の発生量(中間処理を行う前の量)  
記入欄の右側に1年間の発生量を、廃品や粉砕などの中間処理を行う前の量で記入してください。  
単位は、該当するものを選びOで記入してください。

- ④自社での中間処理方法  
自社で中間処理した場合は、該当する処理方法の記号を下記の「4.中間処理方法コード表」から選んで、中間処理方法欄に記入してください。
- ⑤中間処理後の処理方法  
中間処理後の処理方法を記入してください。  
い、ない、焼却は該当するものを選びOで記入してください。

- ⑥処理・処分方法  
発生した廃棄物(自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物)の処理・処分方法を下記の「6.処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入してください。
- ⑦処理・処分先又は再生利用先の名称  
⑧の処理を行った業者(委託業者)の名称を記入してください。  
自社の場合は「自社」と記入してください。
- ⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地  
⑧の処理を行った業者・施設などの所在地(施設の設置場所)を記入してください。
- ⑨処理・処分先又は再生利用先の所在地  
⑧の処理を行った業者・施設などの所在地(施設の設置場所)を記入してください。

- ⑩委託中間処理の方法  
委託(中間処理を委託)で「U」に該当した場合は、委託先での中間処理の方法を下記の「10.委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理方法欄に記入してください。
- ⑪委託中間処理後の再生利用・処分方法  
委託先で中間処理された後の廃棄物の処分方法を、下の1～3から適切な番号をOで記入してください。  
1. 再資源・再生利用した  
2. 埋立処分した  
3. 廃棄物処分した

- ⑫再生利用・最終処分場所  
委託中間処理後の廃棄物(※)の再生利用・最終処分を行った場所を、下記の「12.再生利用・最終処分場所」から選んで、該当する番号を記入してください。
- ⑬再生利用・最終処分先の名称  
委託中間処理後の廃棄物(※)の再生利用・最終処分先の名称を記入してください。  
また、委託中間処理後の廃棄物を処理しているのは誰かを記入し、該当する単位をOで記入してください。くわは別紙で記入してください。

自社で発生した廃棄物の発生量									
区分	①発生場所の名称	②分類番号	③発生量	④単位	⑤発生期間				
F2	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
2	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
3	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
4	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
5	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
6	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
7	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
8	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
9	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
10	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
11	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
12	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg

自社での中間処理									
区分	①処理方法	②発生量	③単位	④発生期間					
F2	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
2	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
3	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
4	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
5	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
6	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
7	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
8	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
9	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
10	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
11	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
12	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg

自社処分・自社再生利用・委託処理・処分									
区分	①処理・処分方法	②発生量	③単位	④発生期間	⑤発生場所	⑥発生場所の名称	⑦発生場所の名称	⑧発生場所の名称	⑨発生場所の名称
F2	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
2	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
3	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
4	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
5	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
6	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
7	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
8	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
9	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
10	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
11	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
12	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg

委託中間処理									
区分	①処理・処分方法	②発生量	③単位	④発生期間	⑤発生場所	⑥発生場所の名称	⑦発生場所の名称	⑧発生場所の名称	⑨発生場所の名称
F2	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
2	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
3	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
4	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
5	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
6	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
7	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
8	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
9	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
10	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
11	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
12	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg

委託中間処理後の処分									
区分	①処理・処分方法	②発生量	③単位	④発生期間	⑤発生場所	⑥発生場所の名称	⑦発生場所の名称	⑧発生場所の名称	⑨発生場所の名称
F2	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
2	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
3	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
4	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
5	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
6	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
7	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
8	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
9	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
10	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
11	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
12	t	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg

④中間処理方法コード表									
A: 焼却	L: 焼却	M: 焼却	N: 焼却	O: 焼却	P: 焼却	Q: 焼却	R: 焼却	S: 焼却	T: 焼却
B: 粉砕	C: 粉砕	D: 粉砕	E: 粉砕	F: 粉砕	G: 粉砕	H: 粉砕	I: 粉砕	J: 粉砕	K: 粉砕
C: 天日乾燥	D: 天日乾燥	E: 天日乾燥	F: 天日乾燥	G: 天日乾燥	H: 天日乾燥	I: 天日乾燥	J: 天日乾燥	K: 天日乾燥	L: 天日乾燥
D: 天日乾燥	E: 天日乾燥	F: 天日乾燥	G: 天日乾燥	H: 天日乾燥	I: 天日乾燥	J: 天日乾燥	K: 天日乾燥	L: 天日乾燥	M: 天日乾燥
E: 天日乾燥	F: 天日乾燥	G: 天日乾燥	H: 天日乾燥	I: 天日乾燥	J: 天日乾燥	K: 天日乾燥	L: 天日乾燥	M: 天日乾燥	N: 天日乾燥
F: 天日乾燥	G: 天日乾燥	H: 天日乾燥	I: 天日乾燥	J: 天日乾燥	K: 天日乾燥	L: 天日乾燥	M: 天日乾燥	N: 天日乾燥	O: 天日乾燥
G: 天日乾燥	H: 天日乾燥	I: 天日乾燥	J: 天日乾燥	K: 天日乾燥	L: 天日乾燥	M: 天日乾燥	N: 天日乾燥	O: 天日乾燥	P: 天日乾燥
H: 天日乾燥	I: 天日乾燥	J: 天日乾燥	K: 天日乾燥	L: 天日乾燥	M: 天日乾燥	N: 天日乾燥	O: 天日乾燥	P: 天日乾燥	Q: 天日乾燥
I: 天日乾燥	J: 天日乾燥	K: 天日乾燥	L: 天日乾燥	M: 天日乾燥	N: 天日乾燥	O: 天日乾燥	P: 天日乾燥	Q: 天日乾燥	R: 天日乾燥
J: 天日乾燥	K: 天日乾燥	L: 天日乾燥	M: 天日乾燥	N: 天日乾燥	O: 天日乾燥	P: 天日乾燥	Q: 天日乾燥	R: 天日乾燥	S: 天日乾燥
K: 天日乾燥	L: 天日乾燥	M: 天日乾燥	N: 天日乾燥	O: 天日乾燥	P: 天日乾燥	Q: 天日乾燥	R: 天日乾燥	S: 天日乾燥	T: 天日乾燥
L: 天日乾燥	M: 天日乾燥	N: 天日乾燥	O: 天日乾燥	P: 天日乾燥	Q: 天日乾燥	R: 天日乾燥	S: 天日乾燥	T: 天日乾燥	U: 天日乾燥
M: 天日乾燥	N: 天日乾燥	O: 天日乾燥	P: 天日乾燥	Q: 天日乾燥	R: 天日乾燥	S: 天日乾燥	T: 天日乾燥	U: 天日乾燥	V: 天日乾燥
N: 天日乾燥	O: 天日乾燥	P: 天日乾燥	Q: 天日乾燥	R: 天日乾燥	S: 天日乾燥	T: 天日乾燥	U: 天日乾燥	V: 天日乾燥	W: 天日乾燥
O: 天日乾燥	P: 天日乾燥	Q: 天日乾燥	R: 天日乾燥	S: 天日乾燥	T: 天日乾燥	U: 天日乾燥	V: 天日乾燥	W: 天日乾燥	X: 天日乾燥
P: 天日乾燥	Q: 天日乾燥	R: 天日乾燥	S: 天日乾燥	T: 天日乾燥	U: 天日乾燥	V: 天日乾燥	W: 天日乾燥	X: 天日乾燥	Y: 天日乾燥
Q: 天日乾燥	R: 天日乾燥	S: 天日乾燥	T: 天日乾燥	U: 天日乾燥	V: 天日乾燥	W: 天日乾燥	X: 天日乾燥	Y: 天日乾燥	Z: 天日乾燥
R: 天日乾燥	S: 天日乾燥	T: 天日乾燥	U: 天日乾燥	V: 天日乾燥	W: 天日乾燥	X: 天日乾燥	Y: 天日乾燥	Z: 天日乾燥	
S: 天日乾燥	T: 天日乾燥	U: 天日乾燥	V: 天日乾燥	W: 天日乾燥	X: 天日乾燥	Y: 天日乾燥	Z: 天日乾燥		
T: 天日乾燥	U: 天日乾燥	V: 天日乾燥	W: 天日乾燥	X: 天日乾燥	Y: 天日乾燥	Z: 天日乾燥			
U: 天日乾燥	V: 天日乾燥	W: 天日乾燥	X: 天日乾燥	Y: 天日乾燥	Z: 天日乾燥				
V: 天日乾燥	W: 天日乾燥	X: 天日乾燥	Y: 天日乾燥	Z: 天日乾燥					
W: 天日乾燥	X: 天日乾燥	Y: 天日乾燥	Z: 天日乾燥						
X: 天日乾燥	Y: 天日乾燥	Z: 天日乾燥							
Y: 天日乾燥	Z: 天日乾燥								
Z: 天日乾燥									

⑥処理・処分方法コード表	
＜処理＞	＜処分＞
Q：自ら処分方法を選定している	S1：処理・処分方法を選定し、同時に問題発生を報告している
V：自ら処分した	S2：処理・処分方法を選定し、同時に問題発生を報告し、同時に問題発生を報告している
X2：自ら処分した	U1：処理・処分方法を選定し、同時に問題発生を報告している
W：先方に（利益がある）	U2：処理・処分方法を選定し、同時に問題発生を報告している
Z：自ら処分している	U3：処理・処分方法を選定し、同時に問題発生を報告している

※事業所で発生した事業系食品廃棄物等の調査です。

※ 食品小売業及び外食産業から廃棄される食品は、通常、一般廃棄物として扱われますが、事業系食品廃棄物等の受入を断続的に把握するため、調査対象業者として含めております。

※注：単位の選択ミスがないよう、お気を付け下さい。

その他	33	その他の産業	
-----	----	--------	--

※その地産食品が複数ある場合、かつこの内には、主な食品を記載して下さい。

【主な食品の例示】

・菓子類 ・めん類 ・鶏卵 ・鶏卵 ・製粉 ・動植物油脂 ・その他畜産食品  
・清涼飲料水 ・水産物 など

## 調査票【その1】の記入要領・記入例

「製造品仕向帳等」の記入について

1. 業種別の場合の記入していただきたい。
2. 製造品仕向帳等には、「製造品仕向帳、加工費収入帳、修理料収入帳」等の記入であって、1年度の帳です。(不明な場合は、先上帳で記入ください。)
3. ただし、調査費が交付された事業所の内容が、「本社事業の、事務所、遊藝場、配管センター及び照明」等であって、実際に製造、加工及び修理を行っていない場合は、(ゼロ)を記入してください。







＊この調査票の有効期間は令和5年4月1日～令和5年3月31日の1年間です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分状況は調査票裏面（～6）の添付に役立ててください。

産業廃棄物実態調査票(令和5年度実績)【その2】

①事業所で発生した廃棄物等の名称  
 事業所で日常使用している名称で記入してください。  
 （別紙「廃棄物分類表」に示した具体例を参照）

②廃棄物等の分類番号  
 別紙「廃棄物分類表」から、該当する4ケタの番号を記入してください。

③年間の発生量（中間処理を行う前の量）  
 記入欄の各行ごとに1年間の発生量、経銷や廃水などの中間処理を行う前の量で記入してください。  
 単位は、該当するものを適宜〇で囲んでください。

④自社での中間処理方法  
 自社で中間処理した場合、該当する処理方法の記号を左欄の「④中間処理方法」コード表」から選んで、中間処理方法欄に記入してください。

⑤中間処理後の量  
 中間処理後の残存量を記入してください。なお、単位は該当するものを選び〇で囲んでください。

⑥処理・処分方法  
 ⑥の処理・処分方法は、委託処理（廃棄物の処理・処分委託）による場合、その記号を記入してください。

⑦処理・処分先又は再利用率の名称  
 ⑥の処理・処分先は「再利用率」の欄に記入してください。

⑧処理・処分先又は再利用率の所在地  
 ⑥の処理・処分先は「再利用率」の欄に記入してください。

⑨委託中間処理の方法  
 ⑨の委託中間処理の方法は、委託処理（廃棄物の処理・処分委託）による場合、その記号を記入してください。

⑩委託中間処理後の再利用率  
 ⑨の委託中間処理後の再利用率は、委託処理（廃棄物の処理・処分委託）による場合、その記号を記入してください。

⑪再生利用・最終処分  
 ⑪の再生利用・最終処分は、再生利用（廃棄物の処理・処分）による場合、その記号を記入してください。

⑫再生利用・最終処分の名称  
 ⑪の再生利用・最終処分は、再生利用（廃棄物の処理・処分）による場合、その記号を記入してください。

⑬再生利用・最終処分の場所  
 ⑬の再生利用・最終処分は、再生利用（廃棄物の処理・処分）による場合、その記号を記入してください。

⑭再生利用・最終処分の場所  
 ⑬の再生利用・最終処分は、再生利用（廃棄物の処理・処分）による場合、その記号を記入してください。

④中間処理方法  
 ⑤中間処理後の量  
 ⑥処理・処分方法  
 ⑦処理・処分先又は再利用率の名称  
 ⑧処理・処分先又は再利用率の所在地  
 ⑨委託中間処理の方法  
 ⑩委託中間処理後の再利用率  
 ⑪再生利用・最終処分  
 ⑫再生利用・最終処分の名称  
 ⑬再生利用・最終処分の場所  
 ⑭再生利用・最終処分の場所

④中間処理方法コード表  
 A: 焼却  
 B: 焼水  
 C: 天日乾燥  
 D: 焼却灰  
 E: 堆肥化  
 F: 堆肥  
 G: 堆肥  
 H: 堆肥  
 I: 堆肥  
 J: 堆肥  
 K: 堆肥  
 L: 堆肥  
 M: 堆肥  
 N: 堆肥  
 O: 堆肥  
 P: 堆肥  
 Q: 堆肥  
 R: 堆肥  
 S: 堆肥  
 T: 堆肥  
 U: 堆肥  
 V: 堆肥  
 W: 堆肥  
 X: 堆肥  
 Y: 堆肥  
 Z: その他

⑥処理・処分方法コード表  
 Q1: 焼却  
 Q2: 焼水  
 Q3: 天日乾燥  
 Q4: 焼却灰  
 Q5: 堆肥化  
 Q6: 堆肥  
 Q7: 堆肥  
 Q8: 堆肥  
 Q9: 堆肥  
 Q10: 堆肥  
 Q11: 堆肥  
 Q12: 堆肥  
 Q13: 堆肥  
 Q14: 堆肥  
 Q15: 堆肥  
 Q16: 堆肥  
 Q17: 堆肥  
 Q18: 堆肥  
 Q19: 堆肥  
 Q20: 堆肥  
 Q21: 堆肥  
 Q22: 堆肥  
 Q23: 堆肥  
 Q24: 堆肥  
 Q25: 堆肥  
 Q26: 堆肥  
 Q27: 堆肥  
 Q28: 堆肥  
 Q29: 堆肥  
 Q30: 堆肥  
 Q31: 堆肥  
 Q32: 堆肥  
 Q33: 堆肥  
 Q34: 堆肥  
 Q35: 堆肥  
 Q36: 堆肥  
 Q37: 堆肥  
 Q38: 堆肥  
 Q39: 堆肥  
 Q40: 堆肥  
 Q41: 堆肥  
 Q42: 堆肥  
 Q43: 堆肥  
 Q44: 堆肥  
 Q45: 堆肥  
 Q46: 堆肥  
 Q47: 堆肥  
 Q48: 堆肥  
 Q49: 堆肥  
 Q50: 堆肥  
 Q51: 堆肥  
 Q52: 堆肥  
 Q53: 堆肥  
 Q54: 堆肥  
 Q55: 堆肥  
 Q56: 堆肥  
 Q57: 堆肥  
 Q58: 堆肥  
 Q59: 堆肥  
 Q60: 堆肥  
 Q61: 堆肥  
 Q62: 堆肥  
 Q63: 堆肥  
 Q64: 堆肥  
 Q65: 堆肥  
 Q66: 堆肥  
 Q67: 堆肥  
 Q68: 堆肥  
 Q69: 堆肥  
 Q70: 堆肥  
 Q71: 堆肥  
 Q72: 堆肥  
 Q73: 堆肥  
 Q74: 堆肥  
 Q75: 堆肥  
 Q76: 堆肥  
 Q77: 堆肥  
 Q78: 堆肥  
 Q79: 堆肥  
 Q80: 堆肥  
 Q81: 堆肥  
 Q82: 堆肥  
 Q83: 堆肥  
 Q84: 堆肥  
 Q85: 堆肥  
 Q86: 堆肥  
 Q87: 堆肥  
 Q88: 堆肥  
 Q89: 堆肥  
 Q90: 堆肥  
 Q91: 堆肥  
 Q92: 堆肥  
 Q93: 堆肥  
 Q94: 堆肥  
 Q95: 堆肥  
 Q96: 堆肥  
 Q97: 堆肥  
 Q98: 堆肥  
 Q99: 堆肥  
 Q100: 堆肥

⑧処理・処分先又は再利用率の名称  
 Q1: 焼却  
 Q2: 焼水  
 Q3: 天日乾燥  
 Q4: 焼却灰  
 Q5: 堆肥化  
 Q6: 堆肥  
 Q7: 堆肥  
 Q8: 堆肥  
 Q9: 堆肥  
 Q10: 堆肥  
 Q11: 堆肥  
 Q12: 堆肥  
 Q13: 堆肥  
 Q14: 堆肥  
 Q15: 堆肥  
 Q16: 堆肥  
 Q17: 堆肥  
 Q18: 堆肥  
 Q19: 堆肥  
 Q20: 堆肥  
 Q21: 堆肥  
 Q22: 堆肥  
 Q23: 堆肥  
 Q24: 堆肥  
 Q25: 堆肥  
 Q26: 堆肥  
 Q27: 堆肥  
 Q28: 堆肥  
 Q29: 堆肥  
 Q30: 堆肥  
 Q31: 堆肥  
 Q32: 堆肥  
 Q33: 堆肥  
 Q34: 堆肥  
 Q35: 堆肥  
 Q36: 堆肥  
 Q37: 堆肥  
 Q38: 堆肥  
 Q39: 堆肥  
 Q40: 堆肥  
 Q41: 堆肥  
 Q42: 堆肥  
 Q43: 堆肥  
 Q44: 堆肥  
 Q45: 堆肥  
 Q46: 堆肥  
 Q47: 堆肥  
 Q48: 堆肥  
 Q49: 堆肥  
 Q50: 堆肥  
 Q51: 堆肥  
 Q52: 堆肥  
 Q53: 堆肥  
 Q54: 堆肥  
 Q55: 堆肥  
 Q56: 堆肥  
 Q57: 堆肥  
 Q58: 堆肥  
 Q59: 堆肥  
 Q60: 堆肥  
 Q61: 堆肥  
 Q62: 堆肥  
 Q63: 堆肥  
 Q64: 堆肥  
 Q65: 堆肥  
 Q66: 堆肥  
 Q67: 堆肥  
 Q68: 堆肥  
 Q69: 堆肥  
 Q70: 堆肥  
 Q71: 堆肥  
 Q72: 堆肥  
 Q73: 堆肥  
 Q74: 堆肥  
 Q75: 堆肥  
 Q76: 堆肥  
 Q77: 堆肥  
 Q78: 堆肥  
 Q79: 堆肥  
 Q80: 堆肥  
 Q81: 堆肥  
 Q82: 堆肥  
 Q83: 堆肥  
 Q84: 堆肥  
 Q85: 堆肥  
 Q86: 堆肥  
 Q87: 堆肥  
 Q88: 堆肥  
 Q89: 堆肥  
 Q90: 堆肥  
 Q91: 堆肥  
 Q92: 堆肥  
 Q93: 堆肥  
 Q94: 堆肥  
 Q95: 堆肥  
 Q96: 堆肥  
 Q97: 堆肥  
 Q98: 堆肥  
 Q99: 堆肥  
 Q100: 堆肥

⑨再利用率の名称  
 Q1: 焼却  
 Q2: 焼水  
 Q3: 天日乾燥  
 Q4: 焼却灰  
 Q5: 堆肥化  
 Q6: 堆肥  
 Q7: 堆肥  
 Q8: 堆肥  
 Q9: 堆肥  
 Q10: 堆肥  
 Q11: 堆肥  
 Q12: 堆肥  
 Q13: 堆肥  
 Q14: 堆肥  
 Q15: 堆肥  
 Q16: 堆肥  
 Q17: 堆肥  
 Q18: 堆肥  
 Q19: 堆肥  
 Q20: 堆肥  
 Q21: 堆肥  
 Q22: 堆肥  
 Q23: 堆肥  
 Q24: 堆肥  
 Q25: 堆肥  
 Q26: 堆肥  
 Q27: 堆肥  
 Q28: 堆肥  
 Q29: 堆肥  
 Q30: 堆肥  
 Q31: 堆肥  
 Q32: 堆肥  
 Q33: 堆肥  
 Q34: 堆肥  
 Q35: 堆肥  
 Q36: 堆肥  
 Q37: 堆肥  
 Q38: 堆肥  
 Q39: 堆肥  
 Q40: 堆肥  
 Q41: 堆肥  
 Q42: 堆肥  
 Q43: 堆肥  
 Q44: 堆肥  
 Q45: 堆肥  
 Q46: 堆肥  
 Q47: 堆肥  
 Q48: 堆肥  
 Q49: 堆肥  
 Q50: 堆肥  
 Q51: 堆肥  
 Q52: 堆肥  
 Q53: 堆肥  
 Q54: 堆肥  
 Q55: 堆肥  
 Q56: 堆肥  
 Q57: 堆肥  
 Q58: 堆肥  
 Q59: 堆肥  
 Q60: 堆肥  
 Q61: 堆肥  
 Q62: 堆肥  
 Q63: 堆肥  
 Q64: 堆肥  
 Q65: 堆肥  
 Q66: 堆肥  
 Q67: 堆肥  
 Q68: 堆肥  
 Q69: 堆肥  
 Q70: 堆肥  
 Q71: 堆肥  
 Q72: 堆肥  
 Q73: 堆肥  
 Q74: 堆肥  
 Q75: 堆肥  
 Q76: 堆肥  
 Q77: 堆肥  
 Q78: 堆肥  
 Q79: 堆肥  
 Q80: 堆肥  
 Q81: 堆肥  
 Q82: 堆肥  
 Q83: 堆肥  
 Q84: 堆肥  
 Q85: 堆肥  
 Q86: 堆肥  
 Q87: 堆肥  
 Q88: 堆肥  
 Q89: 堆肥  
 Q90: 堆肥  
 Q91: 堆肥  
 Q92: 堆肥  
 Q93: 堆肥  
 Q94: 堆肥  
 Q95: 堆肥  
 Q96: 堆肥  
 Q97: 堆肥  
 Q98: 堆肥  
 Q99: 堆肥  
 Q100: 堆肥

⑩委託中間処理方法コード表  
 A: 焼却  
 B: 焼水  
 C: 天日乾燥  
 D: 焼却灰  
 E: 堆肥化  
 F: 堆肥  
 G: 堆肥  
 H: 堆肥  
 I: 堆肥  
 J: 堆肥  
 K: 堆肥  
 L: 堆肥  
 M: 堆肥  
 N: 堆肥  
 O: 堆肥  
 P: 堆肥  
 Q: 堆肥  
 R: 堆肥  
 S: 堆肥  
 T: 堆肥  
 U: 堆肥  
 V: 堆肥  
 W: 堆肥  
 X: 堆肥  
 Y: 堆肥  
 Z: その他

⑪再生利用・最終処分  
 A: 焼却  
 B: 焼水  
 C: 天日乾燥  
 D: 焼却灰  
 E: 堆肥化  
 F: 堆肥  
 G: 堆肥  
 H: 堆肥  
 I: 堆肥  
 J: 堆肥  
 K: 堆肥  
 L: 堆肥  
 M: 堆肥  
 N: 堆肥  
 O: 堆肥  
 P: 堆肥  
 Q: 堆肥  
 R: 堆肥  
 S: 堆肥  
 T: 堆肥  
 U: 堆肥  
 V: 堆肥  
 W: 堆肥  
 X: 堆肥  
 Y: 堆肥  
 Z: その他

⑫再生利用・最終処分の名称  
 A: 焼却  
 B: 焼水  
 C: 天日乾燥  
 D: 焼却灰  
 E: 堆肥化  
 F: 堆肥  
 G: 堆肥  
 H: 堆肥  
 I: 堆肥  
 J: 堆肥  
 K: 堆肥  
 L: 堆肥  
 M: 堆肥  
 N: 堆肥  
 O: 堆肥  
 P: 堆肥  
 Q: 堆肥  
 R: 堆肥  
 S: 堆肥  
 T: 堆肥  
 U: 堆肥  
 V: 堆肥  
 W: 堆肥  
 X: 堆肥  
 Y: 堆肥  
 Z: その他

⑬再生利用・最終処分の場所  
 A: 焼却  
 B: 焼水  
 C: 天日乾燥  
 D: 焼却灰  
 E: 堆肥化  
 F: 堆肥  
 G: 堆肥  
 H: 堆肥  
 I: 堆肥  
 J: 堆肥  
 K: 堆肥  
 L: 堆肥  
 M: 堆肥  
 N: 堆肥  
 O: 堆肥  
 P: 堆肥  
 Q: 堆肥  
 R: 堆肥  
 S: 堆肥  
 T: 堆肥  
 U: 堆肥  
 V: 堆肥  
 W: 堆肥  
 X: 堆肥  
 Y: 堆肥  
 Z: その他

注）⑫行を超えて記入欄が必要な場合は、あらかじめ用紙をコピーするか、（株）沖縄環境地球センター（調査機関）まで追加用紙をご請求ください。

〈調査票の記入要領・記入例〉

※ この資料には、調査票の具体的な記入例が記載してあります。  
※ お手数ですが、この「記入例」を参考にして調査票をご記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）にて、ご返送くださいますようお願いいたします。  
※ 本調査に関するお問い合わせは、（株）沖縄環境地域コンサルティング（電話098－878－1501）へお願いいたします。  
※ ご提出いただいた調査票の記入内容について、電話等により確認させていただく場合もありますので、必ず調査票の控えを取っておいていただきますようお願いいたします。

調査票【その1】の記入要領・記入例

部分の記入例を参考にして、調査票【その1】を記入してください。

事業所の概要	事業所名 △△△病院 〒××××-×××× 所在地 那覇市△-□□ 業種 医療業 主診科 内科 ふりがな おきなわ たちょう 記入者 部・課名 〇〇部 〇〇課 氏名 沖繩 太郎 電話番号 □□□□-□□-□□□□ FAX番号 □□□□-□□-□□□□
事業の概要	従業員数（全事業所記入） 事業所の令和6年3月31日現在の従業員数（派遣社員、役員を含むパート・アルバイトを含む。）を記入してください。 60人 病床数（医療機関のみ記入） 本邦を含む全体（令和6年3月31日現在） 〇〇〇床 資本金（国・公立以外の医療機関記入） 千 百 十 万 円 億 千 百 十 万 円 億 千 百 十 万 円 億 千 百 十 万 円
廃棄物の発生有無	令和5年度の1年間に産業廃棄物（有価で取引された副産物を含む）は発生しましたか。該当する番号に○をつけてください。 ① 発生した 2. 発生しなかった

「病床数」の記入について  
医療機関の場合のみ記入してください。





※感染症、毒性、感受性などの有害な性状を有している薬剤には、特別管理薬剤として分類されます。

表 1: 感染性病原体物の分類表

[illegible]

表 2: 非感染性廢棄物分類表 (產業廢棄物)

種 類	品 名	備 考
有機溶剤	一般廃油	移設室では製室などの排水処理施設から発生する汚泥（し尿を含む浄化槽汚泥は除く）
廃油	植物油	冷菜油やポンプなどの潤滑油
廃油	動物性油脂	入浴後などとの処理に使用した食用油（炊から油等）
廃油	溶剤類	アルコール類、アトロン、洗浄油
廃油	塗料類	タンクアラッジ、オイルスラッジ、オイルトラップ汚泥、油性スラム
廃油	無機性の酸性廃液	油の溜めだめ工工、油蒸くず、酸処理材
廃油	無機性の中性廃液	ホルマリン、その他酸性の廃液
廃油	無機性のアルカリ性廃液	レントゲン写真定影液
廃油	有機性のアルカリ性廃液	機油廃液、その他のアルカリ性の廃液
廃油	レントゲン写真現像液	レントゲン写真現像液
廃油	プラスチック製品くず	合成樹脂製の器具、レントゲンフィルム、ビニールチューブ、その他の合成樹脂製のもの
廃油	ガラスくず	ハレット、ハレットへの製品の積付けのために使用したごみ箱の木材
廃油	金属くず	大抵ゴムの器具類、ディスプレイの部品など
廃油	非金属くず	鉄くず、スクラップ（主体が鉄製の部品）、プリキヤ、トタンくず、空缶、缶（鉄製のもの）
廃油	混合金属くず	銅線、銅くず、アルミくず、アルミ缶
廃油	ガラスくず	目玉にて処理を行わなかったものや分別不可能なもの
廃油	プラスチックくず	白熱電球、蛍光灯、びん類、グラスウール、ガラス容器、光学レンズ、理
廃油	陶磁器くず	ガラス用石皿、陶磁器の器具、その他の陶磁器製のもの
廃油	電気機器くず	コンクリート製品くず
廃油	電気機器くず	電気器具や器具類の部品、鋼の機器の部品
廃油	石炭汚泥	工場の貯蔵、も通又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石炭汚泥の重量の10%を超えて存在するもの。ビニール製タイル（焼付ラミネーション）、スレート、サイディング、石炭製タイル（焼付ラミネーション）など

表 3: 土壤污染特性与废物分类表 (特别管理废物)

種 類	分類番号	量 体 例
引火性薬油	0318	押入れ紙、灯油瓶、軽油類
食食性洗液	0408	水素イオン濃度当量 (H+) が2.0以下の酸液
腐食性洗液アルカリ	0508	水素イオン濃度当量 (OH-) が12.5以上の碱液
特定有害汚泥	0219	特定有害物質を含む汚泥
特定有害溶剤	0319	特定有害物質を含む溶剤
特定有害酸	0409	特定有害物質を含む酸性溶液
特定有害アルカリ	0509	特定有害物質を含むアルカリ性溶液
特定有害ばいじん	7809	特定有害物質を含むばいじん
特定有害汚泥	7419	腐食性、可燃性、POB汚染物、POB汚染物

秘

産業廃棄物実態調査票  
(令和5年度実績)【その1】

1. 本調査の対象期間は令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）の間です。  
なお、質問によらずとも、別の調査を希望する場合はあります。
2. 本調査に事業所単位で行いますが、調査員が送り出される事業所に關して以下の質問にお答えください。  
① 産業廃棄物（有害物）を取り扱った製造業（含む）が事業所の従業員中に居ても発生しなかった場合は、本調査対象（その1）の「事業所長の意見（事業の進展に際して）、「廃棄物発生の有無」の欄の「2」発生しなかった」に回答してください。
3. 本調査における事業所の発生量は、雨水・溶出・前桶の量と廃棄物の量を記入してください。
4. 別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考にしてください。

事業所名	—		
所在地	〒		
業種	主 業 内 容		
ふりがな			
記入者	部・課名：		
電話番号	—	—	FAX番号

<b>事業の概要</b>	創業期の令和3年3月31日現在の従業員数（派遣社員、役員を除く）、パート・アルバイトは除く。）を記入してください。	<b>従業人数(全事業所記入)</b>	<b>資本金(全事業所記入)</b>	<b>万円</b>
		千 百 十 億 円	千 百 十 億 円	万 千 百 十 億 円

調査対象の産地	1. 発生した	2. 発生しなかった
---------	---------	------------

産業廃棄物(有償で取引された副産物を含む)が発生していない事業所に対するアンケートはこまでです。このままご返送ください。

別添「理髪業の収入変動・記入例」を参考に、本調査票の「調査票その2」に貴事業所から発生した産廃物の状況について記入してください。（「調査票その3」についても事業系食品廃棄物の発生状況について記入して下さい。）  
なお、調査票「その2」では、廃棄物の発生から中間処理、さらに最終処分（建設処分あるいは再生利用）されるまでの工程の別れを把握するため、以下の項目についてお聞きします。

- ◆事業所内で発生したものを廃棄しようとする場合（廃棄物に該当しない場合もありますが、調査の対象としています。）
- ◆事業所内もしくは従業員が、製品回収業者とまで再生利用リサイクルしている場合
- ◆事業所内に焼却炉や溶融炉などの中間処理場を築いている場合
- ◆事業所内から別の処理場へ行き、再加工されている場合
- ◆事業所内で行われる処理を行ない、別当番者に処分委託している場合①
- ◆如左表中に埋立処分委託している場合
- ◆如左表中に、保管中の場合

★この調査票の有効期間は令和5年4月1日～令和5年3月31日の1年間です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分状況は調査票面①～③の通りに記入してください。

## 産業廃棄物実態調査票(令和5年度実績)【その2】

●別紙「調査票の記入要領・記入例」、「産業廃棄物分類表」を参考に記入してください。  
●自社で発生した廃棄物・副産物等を含む全てが対象となります。再生利用、売却をしている場合も記入してください。

①事業所で発生した産業廃棄物の名称  
調査票所で日常使用している名称で記入してください。  
(別紙「産業廃棄物分類表」に示した名称前を参照)

②産業廃棄物の分類番号  
別紙「産業廃棄物分類表」から、該当する4ケタの番号を記入してください。

③年間の発生量 (中間処理を有する前)の量  
記入欄の発行ごとに1年間の発生量を、単位や単位などを  
の中間処理を行う前の量で記入してください。  
単位は、該当するものを選びOで記入してください。

④自社での中間処理方法  
自社で中間処理した場合は、該当する  
処理方法の記号を下記の「④処理・処分方法」の中間処理方法  
コード表」から選んで、中間処理方法  
コードに記入してください。

⑤中間処理後の量  
中間処理後の残量(重量)を記入してくださ  
い。なお、単位は該当するものを選びO  
で記入してください。

⑥処理・処分方法  
発生した産業廃棄物(中間処理後の廃棄物)の  
処理・処分方法を下記の「⑥処理・処分方法」の中間処理方法  
コード表」から選んで、中間処理方法  
コードに記入してください。

⑦処理・処分方法又は再生利用用途の名称  
発生した産業廃棄物(中間処理後の廃棄物)の  
処理・処分方法を下記の「⑦処理・処分方法」の中間処理方法  
コード表」から選んで、中間処理方法  
コードに記入してください。

⑧処理・処分方法又は再生利用用途の名称  
発生した産業廃棄物(中間処理後の廃棄物)の  
処理・処分方法を下記の「⑧処理・処分方法」の中間処理方法  
コード表」から選んで、中間処理方法  
コードに記入してください。

⑨処理・処分方法又は再生利用用途の名称  
発生した産業廃棄物(中間処理後の廃棄物)の  
処理・処分方法を下記の「⑨処理・処分方法」の中間処理方法  
コード表」から選んで、中間処理方法  
コードに記入してください。

⑩処理・処分方法又は再生利用用途の名称  
発生した産業廃棄物(中間処理後の廃棄物)の  
処理・処分方法を下記の「⑩処理・処分方法」の中間処理方法  
コード表」から選んで、中間処理方法  
コードに記入してください。

自社で発生した産業廃棄物の発生量				自社での中間処理				自社処分・自社再生利用、委託処理・処分				委託中間処理				委託中間処理後の処分			
区分	処理方法	発生量	単位	処理方法	発生量	単位	処理方法	発生量	単位	処理方法	発生量	単位	処理方法	発生量	単位	処理方法	発生量	単位	処理方法
1	1	1	t	1	1	t	1	1	1	1	t	1	1	1	t	1	1	1	t
2	2	2	kg	2	2	kg	2	2	2	2	kg	2	2	2	kg	2	2	2	kg
3	3	3	t	3	3	t	3	3	3	3	t	3	3	3	t	3	3	3	t
4	4	4	kg	4	4	kg	4	4	4	4	kg	4	4	4	kg	4	4	4	kg
5	5	5	t	5	5	t	5	5	5	5	t	5	5	5	t	5	5	5	t
6	6	6	kg	6	6	kg	6	6	6	6	kg	6	6	6	kg	6	6	6	kg
7	7	7	t	7	7	t	7	7	7	7	t	7	7	7	t	7	7	7	t
8	8	8	kg	8	8	kg	8	8	8	8	kg	8	8	8	kg	8	8	8	kg
9	9	9	t	9	9	t	9	9	9	9	t	9	9	9	t	9	9	9	t
10	10	10	kg	10	10	kg	10	10	10	10	kg	10	10	10	kg	10	10	10	kg
11	11	11	t	11	11	t	11	11	11	11	t	11	11	11	t	11	11	11	t
12	12	12	kg	12	12	kg	12	12	12	12	kg	12	12	12	kg	12	12	12	kg

⑪処理・処分方法コード表

⑫再生利用用途コード表

⑬委託中間処理方法コード表

⑭委託中間処理方法コード表

⑮処理・処分方法コード表

⑯再生利用用途コード表

注) 12行を超えて記入欄が必要な場合は、あらかじめ用紙をコピーするか、(横) 沖縄環境地球コンサルタント(調査機関) まで追加用紙をご請求ください。

- 229 -

## 産業廃棄物実態調査票(令和5年度実績)【その3】

※事業所で発生した事業系食品廃棄物等の調査です。

- ①業種の選定  
該当する業種に○を記載して下さい。(複数選択可)

②年間の発生量（中間処理を行う前の量）

- ※注：単位の選択ミスがないよう、お気を付けて下さい。

※注：単位の選択ミスがないよう、お気を付け下さい。

### ③要因割合

各行ごとの食品ロスの発生要因について、割合（単位はパーセントです。）を記載して下さい。  
 少数点以下まで割合を把握されている場合は、小数第1位（少数第2位を四捨五入）まで記載して下さい。

信託

各行ごとの食品ロスの主な食品について、割合（単位はパーセントです。）を記載して下さい。

(少数第2位を四捨五入) まで記載して下さい。

※生  
定額カット：新商品販売や規格変更に合わせて店頭から撤去された食品  
3分の1ルール：製造日から賞味期限までの合計日数の3分の1

[illegible][illegible]

食品ロスの発生要因別割合	
要因割合	単位
	外食・宴会の廃棄
消費・賞味期限切れや重量が落ちたことにより、調理・調理に利用できなくなった食材・商品	%
試作品、検査品、サンプル	%
製造・流通及び流通過程での汚損・破損などによる廃棄品	%
定着カッターや表示期限切れ、3分のルール等、行われた食品又は廃棄されたもの	%
食べ残し	%
その他	%

食品ロスの主な食品に対する割合		食品ロス割合 単位
主な食品の名称		単位
野菜	%	%
果物	%	%
肉	%	%
惣菜、すし、弁当	%	%
調味料	%	%
糧穀	%	%
いも類	%	%
パン類	%	%
冷凍調理食品	%	%
総量品	%	%
その他食料品（※）	%	%

※その他の食料品が複数ある場合、かつこの内には、主な食品を記載して下さい。

【主な食品の例示】

・菓子類	・めん類	・鶏卵	・製粉	・動物性油脂	・その他
・糖類	・食塩	・清涼飲料水	・水産物	・油脂	

〈調査票の記入要領・記入例〉

※ この資料には、調査票の具体的な記入例が記載してあります。

※ お手数ですが、この「記入例」を参考にして調査票にご記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）にて、ご返送くださいますようお願いいたします。

※ 本調査に関するお問い合わせは、（株）沖縄環境地域コンサルタント（電話098－878－1501）へお願いいたします。

※ ご提出いただいた調査票の記入内容について、電話等により確認させていただく場合もありますので、必ず調査票の控えを取っておいていただきますようお願いいたします。

調査票【その1】の記入要領・記入例

部分 を 参考 に して、調査票【その1】を 記入 して ください。

事業所名	(株)△△△商店									
所在地	〒×××-×××× 那覇市△-□□									
業種	小売業			主 業 務 内 容	△△の販売					
ふりがな				氏 名	おきなわ たろう					
記入者	部・課名： 〇〇部 〇〇課			氏 名	沖縄 太郎					
電話番号	□□□□ - □□ - □□□□			FAX 番号	□□□□ - □□ - □□□□					

従業員数 (全事業所記入)	資本金 (全事業所記入)									
事業所の令和6年3月31日現在 の従業員数 (派遣社員、役員等を含む。パート・アルバイトを除く。) を記入してください。	本社を含む全体 (令和6年3月31日現在)									
千 億	十 億	千 万	十 万	千 万	十 万	千 万	十 万	千 万	十 万	千 万
3	0	人								

事業の概要	令和5年度の1年間に産業廃棄物（有償で取引された副産物を含む）は発生しましたか。該当する番号に○をつけてください。									
発生有無	①. 発生した					2. 発生しなかった				



廃棄物分類表

種 類		分類番号	具 体 例
汚泥 (泥状のもの)	有機性汚泥	0 2 1 1	活性汚泥(余剰汚泥)、ビルビット汚泥(し尿を含むものは除く)、 その他泥状を呈する有機性廃棄物 など
	無機性汚泥	0 2 2 1	研磨汚泥、廃顔料、その他泥状を呈する無機性廃棄物、砂利洗浄汚泥 など
廃油	鉱物油	0 3 1 1	エンジンオイル、機械油、グリス、切削油、絶縁油、圧延油、作動油、 原油、潤滑油、燃料 など
	動植物性油脂	0 3 1 2	食堂や飲食店等の調理に使用した天ぷら油、サラダ油、ごま油 など
廃酸		0 4 0 1	廃液で酸性を呈するもの
廃アルカリ		0 5 0 1	廃液でアルカリ性を呈するもの
廃プラスチック類		0 6 1 4	発泡スチロール、発泡スチロール等の充填材包装用プラスチックヘルト、ト レー類、ラップ類、ビニール類、ナイロン、フィルム など
廃タイヤ	大型	0 6 2 5	大型車用廃タイヤ
	普通・小型	0 6 2 6	普通車・軽自動車用廃タイヤ
紙くず		0 7 0 1	印刷用紙、段ボール、コピー用紙、雑誌、新聞紙 など
木くず		0 8 0 1	ベニヤ、おがくず、かんなくず、大型の家具、建具 など
		0 8 0 2	パレット、パレットへの貨物の積付けのために使用したこん包用の木材
繊維くず		0 9 0 0	布類、裁断くず、クロス、カーペット、綿くず、糸くず など
生ごみ(厨芥類)		1 0 0 3	調理くず、食堂の残飯、弁当の残飯、茶殻など
ゴムくず		1 1 0 0	ゴムくず、エボナイトくず、ゴム手袋、ゴムチューブ、ゴム板くず
金 属 く ず	鉄くず	1 2 1 0	鉄くず、スクラップ(主体が鉄製の場合)、プリキくず、トタンくず、空き缶 (鉄製のもの) など
	非鉄くず	1 2 2 0	銅線、銅くず、アルミくず、アルミ缶 など
	混合金属くず	1 2 3 0	自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの
		1 3 1 0	空き瓶、窓ガラス、その他のガラス類 など
ガラスくず、コ ンクリートくず 及び陶磁器くず	ガラスくず	1 3 2 0	陶器類、煉瓦、瓦、土管 など
	コンクリート製品くず	1 3 4 0	コンクリート製品くず
		2 4 0 0	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石綿をその 重量の0.1%を超えて含有するもの。ビニール板タイル(廃プラスチック 類)、スレート板、サイディング、石綿セメント板(おれぎ類) など
廃家電品		4 0 1 0	テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン、パソコン など
蛍光灯		4 0 1 3	蛍光灯
店内装飾用品		6 0 1 1	店内装飾用品(陳列棚、看板ボード等)
事務用品		6 0 1 2	事務用品(事務用机、椅子、棚類)



産業廃棄物発生施設

沖縄県

産業廃棄物に関する  
排出事業者意識調査票

回答記入日：令和6年 月 日

問1 産業廃棄物等の発生抑制（リデュース）の取組状況について

ここで発生抑制とは、製品の製造・加工、流通・販売、工事現場での施工・解体等の工程内で生じる産業廃棄物等（副産物等を含む）に対して、製造・流通工程、原材料・燃料、設計・施工法等と現行のシステムを貫通することによって、産業廃棄物等そのものの発生量を減らすことをいいます。

(1) 貴事業所（事務所、工場、作業所、工事現場等を含む）では、産業廃棄物の発生抑制に、取り組んでいますか。該当する番号に1つO印をつけてください。

1 自社で取り組んでいる	} → (2) ^
2 他社（リサイクル業者等）に委託している	
3 自社、他社両方で取り組んでいる	
4 今後取り組む予定（現在は取り組んでいない）	
5 取り組んでいない（今後も取り組む予定はない）	→ (3) ^

(2) 上記（1）で、1～4のいずれかにO印をつけた方にお聞きします。それはどのような取組みですか。該当する番号にO印（複数回答可）をつけてください。

1 廃棄物発生のない原材料、燃料、製品等の使用による排出抑制
2 廃棄物発生のない設計・工法の採用
3 包装材・梱包材の使用量の削減（廃止）
4 長寿命化を考慮した製品等の設計・製造
5 分別の徹底による排出抑制
6 ISO14001又はエコアクション21、環境報告書、環境会計等の取組組みの推進
7 その他（具体的に：_____）

(3) 上記（1）で、「5 取り組んでいない（今後も取り組む予定はない）」にO印をつけた方にお聞きします。それはどのような理由ですか。該当する番号にO印（複数回答可）をつけてください。

1 人的な余裕がない
2 費用がかかる
3 技術的、物理的に困難（分別が困難、有害物質を保有）
4 発生量が非常に少ない
5 その他（具体的に：_____）

問2 産業廃棄物等の中間処理による減量化（減容化を含む）の取組状況について

(1) 貴事業所（事務所、工場、作業所、工事現場等を含む）では、産業廃棄物等の中間処理による減量化・減容化（委託業者による処理を含む）に取り組んでいますか。該当する番号に1つO印をつけてください。

1 取り組んでいる	→ (2) ^
2 今後取り組む予定	→ (2) ^
3 取り組む予定はない	→ 問3 ^

(2) 上記（1）で、「1 取り組んでいる」、「2 今後取り組む予定」のいずれかにO印をつけた方にお聞きします。それはどのような方法ですか。該当する番号にO印（複数回答可）をつけてください。

1 焼却（焼成、溶融を含む）	4 脱水	7 固形化、固化
2 破砕	5 天日乾燥	8 中和
3 破砕・分級	6 機械乾燥	9 その他（具体的に：_____）

(3) 上記（2）で、「1 焼却」にO印をつけた方にお聞きします。焼却に伴って熱回収を行っていますか。該当する番号にO印をつけてください。

ここで熱回収とは、ボイラー又は熱交換器等を用いて、発電あるいは暖房等の有効・有効・有効な熱・冷熱等の熱源利用を行うことをいいます。

1 自社で単独焼却している
2 自社で熱回収を行っている
3 委託先で単独焼却している
4 委託先の認定熱回収施設設置者*で熱回収を行っている
5 委託先で熱回収を行っている（認定熱回収施設設置者以外）

※廃棄物処理法第15条の3第1項の認定を受けた事業者。 (https://www.env.go.jp/content/00032447.pdf)

問3 産業廃棄物等のリユース（再利用）、リサイクル（再生利用）の取組状況について

(1) 貴事業所（事務所、工場、作業所、工事現場等を含む）では、産業廃棄物等のリユース、リサイクル（委託業者による処理を含む）に取り組んでいますか。該当する番号に1つO印をつけてください。

1 取り組んでいる	→ (2) ^
2 今後取り組む予定	→ (2) ^
3 取り組む予定はない	→ (3) ^

(2) 上記（1）で、「1 取り組んでいる」、「2 今後取り組む予定」のいずれかにO印をつけた方にお聞きします。それはどのような方法ですか。該当する番号にO印（複数回答可）をつけてください。

1 リサイクルを考慮した廃棄物等の分別
2 リサイクルのしやすさを考慮した製品等の設計、製造
3 自社製品の原料・副原料としてのリユース
4 自社製品での水平リサイクル*
5 他社製品の原料・副原料としてのリサイクル
6 使用済製品・再生素等の調達（グリーン購入）
7 その他（具体的に：_____）

※水平リサイクルとは、使用済製品等を原材料として用いて同一種類の製品を製造することです。

(3) 上記（1）で、「3 取り組む予定はない」にO印をつけた方にお聞きします。それはどのような理由ですか。該当する番号にO印（複数回答可）をつけてください。

1 人的な余裕がない
2 費用がかかる
3 技術的、物理的に困難（分別が困難、有害物質を保有）
4 発生量が非常に少ない
5 情報（リサイクルレート、技術開発等）がない
6 その他（具体的に：_____）

問4 電子マニフェストの使用について

- (1) 電子マニフェスト導入のメリットは次のとおりとされています。
- 入力等の操作が簡単で手間がかからない
  - マニフェスト交付時状況報告が不要
  - マニフェストの保存が不要（保管スペースも不要）
  - 排出者及び処理業者の相互チェックにより不適切なデータの登録・報告を防止できる
  - 記載漏れを防止できる
  - マニフェスト紛失の心配が不要

現在、貴事業所では、電子マニフェストを使用していますか。該当する番号に1つO印をつけてください。

1	全てに電子マニフェストを使用している	→ (4) ^
2	一部、電子マニフェストを使用している	→ (4) ^
3	全てに紙マニフェストを使用している	→ (2) ^
4	委託処理をしていないので、電子マニフェストは使用していない	→ (4) ^

(2) 上記 (1) で「3」全てに紙マニフェストを使用している」にO印をつけた方にお聞きします。将来的には、電子マニフェストを使用する予定はありますか。該当する番号に1つO印をつけてください。

1	全て電子マニフェストを使用する予定	→ (4) ^
2	一部、電子マニフェストを使用する予定	→ (4) ^
3	多くの処理業者が加入し、使いやすい環境が整えば検討する	→ (3) ^
4	使用する予定はない	→ (4) ^
5	その他（具体的に）	

(3) 上記 (2) で「3」多くの処理業者が加入し、使いやすい環境が整えば検討する」にO印をつけた方にお聞きします。どのような環境が整えば電子マニフェストを使用してみようと考えますか。該当する番号に1つO印をつけてください。

1	電子マニフェストがさらに普及すること（処理業者の加入率が高くなること など）
2	加入手続きがより簡単になること
3	費用面でメリットを感じることができること
4	その他（具体的に）

(4) 平成 29 年度の法改正により、特別管理産業廃棄物を年 50 トン以上排出する事業者には、電子マニフェストの使用が義務づけられました（令和2年4月1日施行）。これにとまない、認知化の対象事業者と契約を結ぶ場合は、処理業者も電子マニフェストを使用しなければなりません。このことを知っていましたか、該当する番号にOをつけてください（知っている場合は複数回答可）。

1	知らなかった
2	関係官公庁からの通知等により知っている
3	関係団体等からの連絡等により知っている
4	関係業界紙、情報誌等により知っている
5	その他の方法より知っている（どのような方法ですか）
[ ]	

※ 電子マニフェストについての詳しい情報は、日本産業廃棄物処理センターのホームページ（<https://www.jwnet.or.jp/jwnet/index.html>）をご覧ください。

問5 将来の排出量の見込みについて

貴事業所（事務所、工場、作業所、工事現場等を含む）の、今後2～3年間の排出量の見込みは、どのようにお考えでしょうか。該当する番号に1つO印をつけてください。

1	かなり増加する見込みである（50%以上の増加を見込んでいる。）
2	多少は増加する見込みである（だいたい20%～50%の増加を見込んでいる。）
3	あまり変わらない（20%前後の増減を含む）
4	多少は減少する見込みである（だいたい20%～50%の減少を見込んでいる）
5	かなり減少する見込みである（50%以上の減少を見込んでいる）

問6 その他ご意見等

産業廃棄物の処理等に関する課題・問題点、県に対する要望等、ご自由にお書き下さい。  
※産業廃棄物税に関するご意見等につきましては、10ページの設問Ⅶお書きください。

--	--

— 次ページの「産業廃棄物税の導入に関する意識調査票」へ —

産業廃棄物処理の導入に関する意識調査票

調査への回答については、可能な限り、電子ファイル（ワード）をダウンロードし、御返してくださいますようお願いいたします。  
電子ファイルの提出期限は、この調査票に直接記入ください。記入済みの調査票（産業廃棄物処理調査票も併せて）と一緒に返信用封筒（封入不要）でご返送をお願いします。

I. 産業廃棄物処理の状況等について

(1) 貴事業所の産業廃棄物（創業、事務所関係など）の処理を教えてください。

1. 令和2年度以前（産業廃棄物処理条例見直し前、令和2年度を含む。） → (2) へ  
2. 令和3年度以降（産業廃棄物処理条例見直し後） → II へ

(2) 貴事業所では、令和2年度以前と令和3年度以降とを比較した場合、産業廃棄物全体の量はどのように変化しましたか。

貴事業所の産業廃棄物全体の量について、発生量、排出量、焼却処理量、中間処理（焼却を除く選別、粉砕、破砕、中砕、乾燥等）量、再生利用量、最終処分量について、1から5までの間で最も適する番号に1つだけOをつけてください。

1. 年々増加 2. 年ごとに増減あるも、傾向としては増加 3. 変化なし  
4. 年々減少 5. 年ごとに増減あるも、傾向としては減少

発生量					排出量					焼却処理量					中間処理量（焼却除く）				
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
再生利用量					最終処分量					排出量について									
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	「1」又は「2」にO → 設問(3) へ 「4」又は「5」にO → 設問(4) へ 「3」にO → 設問Ⅱ へ									
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5										

(3) 上記(2)で排出量の「1」又は「2」にOをつけた方にお答えします。  
増加した原因として何が考えられますか。主な原因と思われる番号に1つだけOをつけてください。  
「5」にOをつけた場合は具体的な内容を記入してください。

<増加の原因>

1. 事業規模の拡大又は売上げの増加  
2. 製造工程の改善等による排出量の増加  
3. 原材料の変更等による排出量の増加  
4. 排出削減（分別等）・リサイクルの取組みの中止又は縮小  
5. その他（）

→ 設問Ⅱ へ

(4) 上記(2)で排出量の「4」又は「5」にOをつけた方にお答えします。  
減少した原因として何が考えられますか。主な原因と思われる番号に1つだけOをつけてください。  
「5」にOをつけた場合は具体的な内容を記入してください。

<減少の原因>

1. 事業規模の縮小又は売上げの減少  
2. 製造工程の改善等による排出量の減少  
3. 原材料の変更等による排出量の減少  
4. 排出削減（分別等）・リサイクルの取組みの開始又は強化  
5. その他（）

→ 設問Ⅱ へ

II. 産業廃棄物処理の導入の事実について

本票では、平成18年4月から、排出事業者を御関係者とし、県民の埋立処分場への産業廃棄物の搬入に対し  
て課税する産業廃棄物税を導入しているのをご存じですか。当てはまる番号に1つだけOをつけてください。  
※ 沖縄県産業廃棄物税の概要については、〈別紙1〉をご覧ください。

<産業廃棄物税の導入>

1. 十分に知っている 2. ある程度知っている  
3. 名称は知っているが内容は知らない 4. 全く知らない

→ 設問Ⅱ へ

III. 産業廃棄物処理の導入に伴う取組みの変化について

(1) 現在の貴事業所での産業廃棄物の排出削減・リサイクルの取組みについてお尋ねします。  
当てはまる番号に1つだけOをつけてください。

<現在の取組みの状況>

1. 排出削減及びリサイクルの取組みをしている。 → 設問(2) (3) (4) へ  
2. 排出削減の取組みをしている。 → 設問(2) (3) (4) へ  
3. リサイクルの取組みをしている。 → 設問(2) (3) (4) へ  
4. 取組んでいない。 → 設問(5) へ

以下の(2)から(4)までは、上記(1)で「1」～「3」にOをつけた方の方にお尋ねします。

(2) 排出削減・リサイクルの取組みを始めたのはいつ頃からですか。1から3までの当てはまる番号に1つだけOをつけてください。

<取組開始時期>

1. 平成17年度以前 2. 平成18年度～令和2年度  
3. 令和3年度～

排出削減の取組開始時期					リサイクルの取組開始時期				
1	2	3	1	2	3	1	2	3	

→ 設問(3) へ

(3) 排出削減・リサイクルの取組みを開始し、又は強化した動機になったものは何ですか。  
当てはまる番号に全てOをつけてください。（複数回答可）  
「5」にOをつけた場合は具体的な内容を記入してください。

<取組の動機>

1. 産業廃棄物税の導入による税を含めた処理料金の値上がり  
2. 産業廃棄物処理コストの削減  
3. 選別リサイクル法をはじめ各種リサイクルの施行及び既存の法規制の強化  
4. 環境意識の高まり  
5. その他（具体的に）

→ 設問(4) へ

#### IV. 産業廃棄物税の制度について

- ＜税の非課税の有無＞
- |                             |          |
|-----------------------------|----------|
| 1. 転讓が行われている。               | 設問 (2) へ |
| 2. 転讓が行われている業者もいる、いない業者もいる。 | 設問 (2) へ |
| 3. 転讓が行われていない。              | 設問 (3) へ |
| 4. わからない                    | 設問 (3) へ |

- ＜秋の美談の発見＞
1. 的確な秋葉目当りが確認されている。
  2. ほぼ正確な秋葉目三葉目が確認されている。
  3. あまりの確かな葉相相当の美談がでない。
  4. 誤判目当りの美談が全く的確でない。
  5. わからない。

- ＜納税方式＞
1. 要当な納税方式である。
  2. 現在の納税方式は要当ではない。
- 理由
- (具体的に)

- ＜取組みの内容＞
1. 製造工程の見直しや変更
  2. 再使用の取組強化
  3. 再資源化施設への受入集集に適合させるための分別の徹底
  4. 焼却処理以外の中間処理への委託
  5. その他（具体的に）

- ＜取り組んでいない理由＞
1. 再生原料の技術等が確立されていない。
  2. 再生原料の技術等は確立されているが、費用がかかりすぎるため設備や組織体制が整わずきない。
  3. 再生原料の技術等は確立されているが、周辺に受け入れ先がない。
  4. 焼却処理や埋立処分の方が費用が安い。
  5. 排出量が小さい。
  6. 消費者・取組相手等の再生製品等に対する利用意識が充分でない。
  7. その他（具体的に）

- ＜税導入の影響＞
1. 排出削減やリサイクル等の取組の結果、処理コスト削減につながった。
  2. 排出削減やリサイクル等の取組の結果、会社のイメージ向上につながった。
  3. 排出削減やリサイクル等の取組の結果、社員の意識改革につながった。
  4. 排出削減やリサイクル等に取り組みうしたが、できなかったため、結果的に排出量が負担増となった。
  5. 排出削減やリサイクル等に全く取組がなかったため、排出量が負担増となった。
  6. 事業競争の見直しにより、負担増を押さえた。
  7. 産業廃棄物税の導入による経営上の影響はなかった。
  8. その他（具体的に）

Ⅴ. 産業廃棄物税の広域的導入について

(1) 産業廃棄物を取り巻く課題は、一地域の局地的なものであるとともに産業廃棄物が県境を越えて移動している状況が懸念すると広域的な課題でもあります。九州各県間においては、税制の導入による排出抑制とリサイクル促進という政策効果を確保するため、広域的な税制を導入する取組が重要と考え、九州各県で一斉（平成17年度）に導入しました。（中略）（平成18年度）産業廃棄物の導入後に産業廃棄物に関して何か変化がありましたか。当てはまる番号に全て○をつけてください。（複数回答可）

<初導入後の変化>

1. 産業廃棄物の排出抑制の取組みをした。

→ 設問Ⅵへ

2. 産業廃棄物のリサイクルの取組みをした。

→ 設問Ⅵへ

3. 産業廃棄物の輸入先を変えた。

→ 設問(2) 及び(3)へ

4. 何も変化はない。（導入後に営業開始した事業所を含む。）

→ 設問Ⅵへ

次の(2)及び(3)は、上記(1)で「3」に○をつけられた方のみにお尋ねします。

(2) 産業廃棄物を処理する場所を変更した理由は何ですか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。  
15に○をつけた場合は具体的な内容を記入してください。

<変更理由>

1. 産業廃棄物の負担を減らすため、課税のない地域に搬入することにした。

2. リサイクルを行わない処理方法からリサイクルを行う処理方法への変更に伴い、輸入先を変更した。

3. 施設の廃止などにより、それまでの処理方法が継続できなくなったため輸入先を変更した。

4. 1及び2以外の理由で、より料金の安い施設があったため輸入先を変更した。

5. その他（具体的に）

→ 設問(3)へ

(3) 産業廃棄物を処理する場所をどこに変更しましたか。当てはまる番号全てに○をつけてください。また、該当がなければ、( ) 内の番号にも○をつけてください。（複数回答可）

<変更場所>

1. 九州の他の県

①福岡県 ②佐賀県 ③長崎県 ④熊本県 ⑤大分県 ⑥宮崎県 ⑦鹿児島県

2. 九州以外

①中国地方 ②近畿地方 ③四国地方 ④その他( )

→ 設問Ⅵへ

Ⅵ. 産業廃棄物税の税収使途について

産業廃棄物税は、条例の規定により、「循環型社会の形成に向けた産業廃棄物の排出の抑制及び再使用、再生利用その他適正な処理の促進に関する施策に要する費用に充てなければならぬ。」こととされており、具体的には、①産業廃棄物の発生抑制・リサイクル等の促進、②処理量の適正化の促進、③不法投棄等防止対策、④公共関係による産業廃棄物最終処分場の周辺環境整備などの施策に充てています。（詳細は別紙参照）

今後、産業廃棄物税の使途として、どのような施策を充てますべきかと考えていますか。当てはまる番号に全て○をつけてください。（複数回答可）

<税収使途>

1. 産業廃棄物の排出抑制・リサイクル等の促進を強化すへき。

2. 処理量の適正化の促進を強化すへき。

3. 不法投棄等防止対策を強化すへき。

4. 公共関係による産業廃棄物最終処分場の周辺環境整備を強化すへき。

5. その他（具体的に）

Ⅶ. 自由意見欄

産業廃棄物税に関するご意見を下記にて自由にお書きください。

— ご協力ありがとうございました！ —

- 238 -

---

令和6年度  
沖縄県産業廃棄物実態調査報告書  
(令和5年度実績)

調査主体：沖縄県環境部 環境整備課

調査委託先：株式会社 沖縄環境地域コンサルタント

〒901-2132

沖縄県浦添市伊祖 1-22-3 2F

TEL (098) 871-1135

FAX (098) 871-1136

---